



昨今、年賀状をやめる個人や企業が増えていきます。これは、近年の虚礼廃止の流れやデジタル化の普及に加え、SDGs（持続可能な開発目標）への対応や、環境（廃棄物の削減や配達に伴う移動で排出されるCO2の削減など）への配慮を背景としています。

環境やSDGsへの注目や関心が高まる中、当法人では、今年も年賀状を出させていたいただきました。ただし、一般的に販売されている年賀ハガキではなく、「バナナペーパー」という特殊な紙で作られた年賀ハガキを使用しました。バナナペーパーは、アフリカのザンビアで栽培されているオーガニックバナナの茎から取った繊維を原料とするエコ用紙です。この紙を購入して使う事で、環境保全や途上国の貧困・雇用問題の解決に寄与することができます。SDGsの取り組みとして、年賀状を出さない方法もあれば、「年賀状を出す」ことのできるSDGsもあるのです。

年賀状を巡る議論には様々な意見がありますが、どんな意見や考え方もきつと間違いではありません。年賀状も一つの例えですが、わたしたちの社会では様々な価値観や概念が大きく転換されています。そんな時代の様相を表すかのように、某アニメ映画の主題歌やサッカーW杯の影響から「新時代」という言葉をよく見聞きするようになりました。わたしたち福祉施設を取り巻く環境も目まぐるしく変化しています。新時代の社会に適合できるよう「メタモルフォーゼ」の必要性を強く感じながら、決意を新たにしているところです。本年もどうぞよろしくお願い致します。

施設長 松浦光毅

研修報告

サービスマネジメント責任者 松浦 徳彦

全国社会福祉法人経営協議会の経営塾に参加させて頂きました。研修では前期はオンライン、後期は実地での開催となりました。

前期研修では将来について構想する為の視野・視点を広げ組織作りや経営戦略する上での検討プロセス・フレームなどの基本的な考えや、財務分析の枠組みや方法について学びました。後期研修では経営戦略・マーケティングについて立案の仕方や『人材』に着目し自法人における課題や今後の方向性についてグループメンバーと協議する内容となりました。

前期研修で有識者講演があったのですが、『パーパス(社会的存在意義)』という言葉が印象に残っています。中長期計画を立案する際に最終的に社会的存在意義をどう見出ししていくのが今後問われていくとの話でした。社会福祉法人の役割として社会貢献があります。民間企業もパーパスを意識した経営戦略が求められる時代に変化しているのだということ。私たち社会福祉法人はより一層パーパスを意識した経営観を持ち、地域

社会に不可欠な存在となっていかなければならない、社会的責任を果たしていくべきだと学ばせて頂きました。

後期研修では主に人材にフォーカスし、人材育成や定着、採用方法等についてグループメンバーと課題や方向性について協議しました。また経営者講演ではキリンビール元代表取締役の松沢幸一氏の「経営リーダーに求められるもの」私の経営観」について講話頂きました。リーダーとして必要なことは課題・問題が発生した時は必ず現場を見に行くこと、部下が100人、500人、1000人になっても現場に出て社員とのコミュニケーションを大事にしていたこと、社員をリスペクトしていたこと等話されました。サッカー日本代表の森保監督がメディアで選手をリスペクトしている、とよく発言されていました。監督、選手の垣根を越えてリスペクトしあえる関係作りが出来たからこそ組織として戦い力を発揮し、結果が出たのではないかと思えます。簡単なことではありませんが、そういうリーダー像を目指して日々学びを深めていきたいと思えます。

T・Kさんの支援状況

生活支援員 金子 恵三

T・Kさんは、南海寮の通所を利用して4年程が経過します。Kさんは集団の場が苦手、日中の多くの時間を一人で過ごされます。例えば、室内で行われる活動の場では、室内に入られる前に足が竦み、洗面所やホールで過ごされたり、食事の際も、食堂に入る事が難しく一人で別の場所で食事を摂られるため個別対応が必要とな状況でした。

寮内では、様々な行事や活動参加の機会があります。それらの活動を通して社会参加の場面で、できるだけ参加ができるように支援目標や計画を立てて支援に取り組みました。まず、参加人数が少ない屋外での農作業を勧めたり、作業の場ではパーテーションの使用を行い他者が視界に入らない環境を作り、活動も貼り絵・花台磨きといった活動以外の物(絵合わせ・色つきクリップの仕分け等)をKさんに合わせて、準備を行いました。楽しく活動に参加出来る環境を整える事で作業の場で過ごす事が出来る様になり、食事も他の利用者さんが少なくなつた時間帯に担当職員と一緒に食事

をとるなどの試みが続けたところ、しばらくして食堂での食事が出来るようになった。しかし、Kさんが20歳の誕生日を迎えられた時、「成人を迎えられたのであれば、寮でもお祝いを。」との思いで、昼食の際にお祝しようとしたところ「普段と違った様子」、「他者からの注目を浴びてしまう場」というKさんからすると苦手な部分を刺激された結果となり、その後食堂には足も向かないと言った状況になつてしまいました。

今思うと、喜んでもらえるかと思つてやった事も人によつては逆に苦痛を与えてしまう事も有るのだと個人に配慮した支援の大切さを痛感させられる出来事でもありました。

その後も、待合室での食事を摂られる状況が続きましたが、車椅子で遊ぶ姿が見られていた為、その様子をヒントに「食事の時にだけ車椅子を使用しても良いので頑張つて食堂でご飯を食べてみましょう。」との声掛け等を試みて以降食堂内への入室、他の利用者さんと一緒の場での食事ができるまでに。これからもKさんにどのような支援が必要か一緒に考え試しながら、社会参加出来るよう支援していきたいと思えます。



南海寮ゆく年くる年



11月 レクリエーション大会



白熱の綱引きは引き分け…
玉入れ、リレーも最後まで諦めずに頑張りました！



運動した後の弁当は格別

12月 忘年会&餅つき



2022年も色々ありましたが、一年お疲れさまでした！
新年の準備もバッチリです！

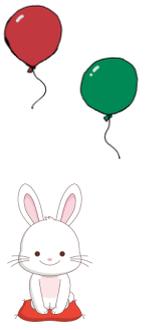
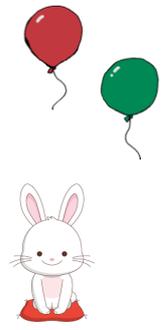


HAPPYNEWYEAR!



今年も良い年に
なりますように
社会福祉法人
啓友会

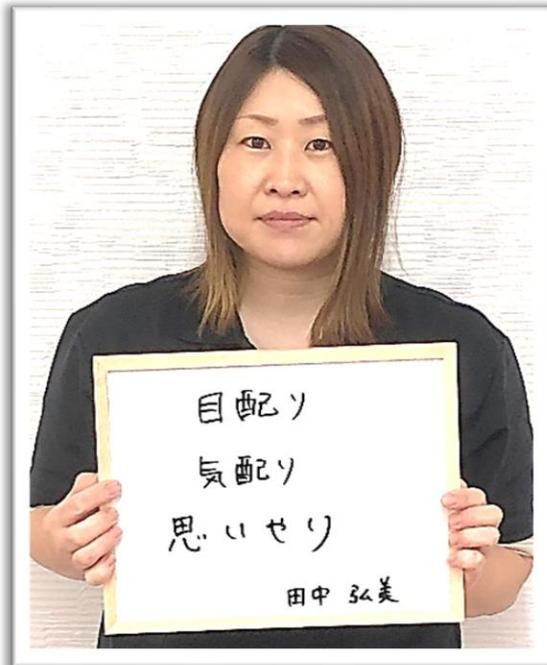




2023



今年の抱負を職員の皆さんに述べて頂きました!



あいむだより



～芋掘り～

11月にあいむでは恒例の芋掘りを行いました。今年の芋は“紅あずま”という品種で良く育っており「でかかよ!」「おっきかねー」と皆さん大喜びでした!掘った芋は甘みを増す為に保管して年明けに食べる予定ですが、調理方法はシンプルに蒸かして食べるか、調理するかは利用者さんに尋ねてから決めたいと思います。保管中に味のチェックと言う事で少しずつ減ってきていますが・・・たくさん収穫したので大丈夫でしょう!(笑)

～忘年会～

12月の忘年会はコロナ禍で本体との合同開催は今年も断念し、あいむにてサンタ帽をかぶってダンスや歌を歌ったり、忘年会のごちそうを頂き、楽しく過ごしました。

この記事を書いているのは12月中頃なんですけど、今年はすごーく寒いです。部屋の換気や定期的な手指消毒、うがい等みなさん寒い中感染症予防にご協力して頂き感謝しております。少しでも早いコロナの終息を願いつつ、皆様にとりまして2023年は更に素晴らしい年になりますようお祈り致します。



なんかい

南海寮広報委員会

■ご覧いただき、ご意見・ご感想などありましたら keiyukai@cup.ocn.ne.jp までお寄せください。
■広報誌「なんかい」はホームページ <http://www.nankairyoku.or.jp/> からご覧いただけます。